

浅川造船株式会社（愛媛県今治市）

仕事に必要なのは「ヤル気」だけ

先入観のない 人材雇用で女性も 活躍できる会社へ

会社の姿勢

仕事に性別も国籍も関係ない

その昔、クレーンやNC切断機などがなかった時代は確かに男性中心の職場だったかもしれない。しかし、今ではあらゆる装置が機械化され、その操作に男女差は生まれない。少子高齢化、都会への若者の人材流出が叫ばれる中、性別や国籍、年齢といった先入観を排除した雇用を心がけている。

現在、製造部には全部で7名の女性がいて、そのうち5名がヘルメットを被って現場に出ることもある。設計部はCADやGRADE/HULLの導入によって、3名の女性がネ스팅担当として働いている。昨年からは地元・愛媛大学の女性未来育成センターが主導する『リケジョ応援企業』にも参画しており、今後も積極的に女性の雇用を行っていく方針である。

社内環境

キャリアアップのための部署異動も

女性専用の更衣室や休憩室を設け、昼食をとる休憩室にはテレビを設置するなど働きやすい環境整備を行っている。内勤の女性には制服を支給し、現場作業を行う女性には男性とは異なるデザインの作業服を用意するなどソフトとハード両方の改善を随時行っている。

また、浅川造船で働く女性の中には、一度出産、育休を経てパートタイムでの勤務を希望して職場に復帰した女性もいる。会社は多種多様な働き方を提案し、社員やその家族が納得のいく働き方を選択して長期間働いてもらうことを第一に考えている。意欲の高い女性が多いので、自身のキャリアアップのための部署異動の希望は積極的に受け入れている。



2台あるNC鋼板切断機のオペレーターを務める大本千里さん（右）と大本菜里さん（左）は本当の姉妹。実は父親も同じ会社で働く「造船一家」。父親の紹介で千里さんが入社すると、会社の雰囲気や仕事内容を聞いて興味を持った菜里さんも後を追うように5か月後に入社。毎日、同じ自宅から出勤している。同じ機械のオペレーターだけに仕事の悩みも2人でよく相談している。



3年前からNC印字マーキング装置のオペレーターを務める越智美奈子さん。もともと安全課で事務を担当していたが、本人の希望で現場担当に。今ではその表情は職人の顔つきに。



VOICE

本田圭乃さん
GRADE/HULL という、機能設計から生産設計までをカバーする3次元造船用CAD/CAMシステムを使って鋼板のネ스팅を行っている。
「大学時代はワードやエクセルしか使ったことがなかったのですが、先輩方が丁寧に教えてくれたので2か月である程度の作業を覚えることができました。設計部からは船台が見えるので、実際にネ스팅した鋼板が大きな船になっていくのを見るのは楽しいです」

取り組んでいる会社の概要

浅川造船株式会社

代表者：浅野 富士人（代表取締役）
所在地：愛媛県今治市小浦町2丁目4番39号
資本金：5,000万円
事業内容：各種鋼船の建造及び修理
従業員数：140名

（平成29年8月時点）